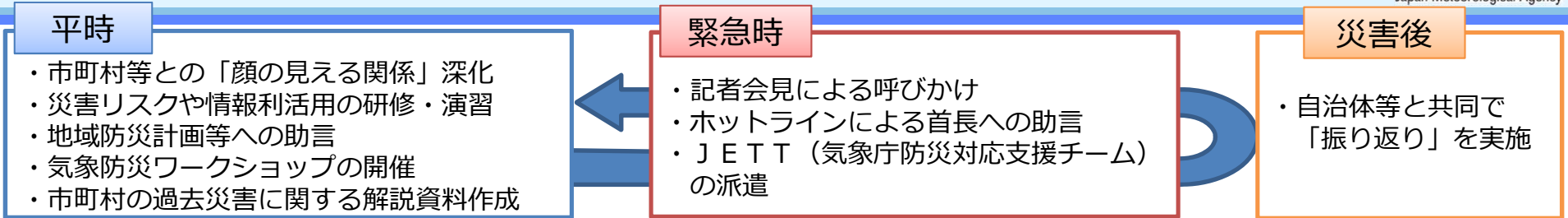


高知地方気象台の取組

令和6年3月26日

1 地域防災支援業務の推進状況について（高知県での取組）



「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務

県内土木事務所管轄内の各市町村の災害特性を踏まえた人材配置による担当チームを編成。担当チームの常設により、各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係の構築を進めています。

県庁・高知市チーム
リーダー 出羽 森、飯盛、北村、川田

中央東・中央西チーム
リーダー 井本 田辺、石本、重岡、松尾

安芸チーム
リーダー 増田 谷脇和、甲斐、桃田

須崎・幡多チーム
リーダー 大野 亀山、柳本、谷脇由、谷脇翔

担当チーム総括
崎山



気象防災ワークショップの推進

初任の防災担当者や経験の浅い方を対象に、防災気象情報を理解いただくとともに、避難情報の発令判断への活用を疑似体験することで市町村の防災力向上に役立てていただくことを目的として開催。



令和4年度は、5市町村で開催
令和5年度は、21市町村で開催
（オンライン実施）
令和元年～3年度の3年間に、
県内全市町村で開催。
※令和6年度も引き続き実施予定。

積極的なJ E T T派遣 ホットライン等の実施



【県危機管理連絡員会議へ派遣】

- 令和5年台風第6号の接近に伴う大雨等について、県危機管理連絡員会議に職員を派遣し解説を行うとともに、各市町村にホットラインを実施。
- 線状降水帯発生時や土砂災害警戒情報発表時等には担当者ホットラインに加え、首長ホットラインを実施。

「振り返り」の業務改善への活用

災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



【土佐清水市との振り返り】

- 令和5年6月の大雨について、土佐清水市、四万十市、他3市町と、8月の台風第6号について5町村と、それぞれ対面やオンラインで振り返りを実施。
- 令和4年12月の大雪について、オンラインアンケートを実施し、市町村等の防災対応や防災気象情報の利用状況を把握するとともに、气象台への要望や意見交換等を実施。

2 線状降水帯の予測精度向上等に向けた取組

これまでの取組と今後のスケジュール

線状降水帯の予測精度向上を前倒しで推進し、予測精度向上を踏まえた情報の提供を早期に実現するため、水蒸気観測等の強化、気象庁スーパーコンピュータの強化や「富岳」を活用した予測技術の開発等を早急に進める。

観測の強化

- 陸上観測の強化
- 気象衛星観測の強化
- 局地的大雨の監視の強化
- 洋上観測の強化

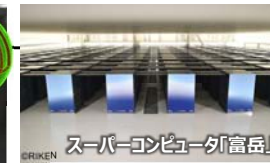


次期ひまわり
(令和10年度めぐり打上げ)



予測の強化

- 高度化した局地アンサンブル予報等の数値予報モデルによる予測精度向上等を早期に実現するためのスーパーコンピュータシステムの整備
- 線状降水帯の機構解明のための、梅雨期の集中観測、関連実験設備（風洞）の強化
- 「富岳」を活用した予測技術開発



情報の改善

令和3(2021)年
線状降水帯の発生をお知らせする情報(6/17提供開始)

線状降水帯の雨域を楕円で表示



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討